

糖尿病、肝臓病、ガンにまで効くと医師が注目の不思議な 海洋ミネラル 発見！

元東京大学医学部教授 荒川清二 腫瘍研究所特別研究員 小椋 武

南極で発見された海水の結晶から

開発された海洋ミネラルで病気が治ると今注目

最古にして最新の物質

私たちがこれからご紹介する「海洋ミネラル」は、地球上で最古で最新の物質で、さまざまな未知の作用を秘めた食品です。

どうして最古なのか、また、なぜ最新なのか、どんなふうに体に良いのか、順々にご説明しましょう。

ご存知のように、地球の生命は海洋から誕生したとされています。

約40億年前の太古の海水の中に最初の生命が芽生え、その後、30数億年を経て今から5～6億年前に、「カンブリア紀」と呼ばれる新しい生物誕生の時期が始まりました。

海洋がいろいろな形の生物で満たされるようになったため、「カンブリアの爆発」とも形容されるこの時期から、さらに5億年を経て、我々人類の先祖が出現したのです。

地球の最新参者ではありませんが、それでも人類も当然、その起源までたどれば海洋に行きつくわけで、それゆえ、人間の血液の塩分濃度は、太古の海水のそれに等しいといわれます。

地球科学の世界的権威、北野 康博士によると、地球に最初の生物が生じた「前カンブリア時代」の海水と、現在の海水との成分の変動は、それほど大きくはないそうです。また、海水の成分と人の羊

水（子宮の羊膜の内部を満たし、胎児を保護する液体）の成分は、非常によく似ているということです。いわば人間は、今でも太古そのままの海水の中から、

南極石の化学組織

化学成分	重量百分率 (%)
カルシウム	17.5
マグネシウム	0.41
ナトリウム	0.34
カリウム	0.008
塩素	32.7
水分	49.2

海洋ミネラルの化学組織

化学成分	重量百分率 (%)
カルシウム	8.7
マグネシウム	0.15
ナトリウム	6.1
カリウム	7.6
塩素	3.0
水分	15.6
炭素	14.6
水素	3.7
窒素	7.1
リン	0.0003

誕生し続けているわけです。

南極ドンファン湖は、古生代（地質による時代区分の1つ。前カンブリア時代に続く約6億年前から2億3000万年前までの時代）に陥没したため、その頃の海水のミネラルをそのままたたえているといわれています。

南極越冬隊隊長だった鳥居 鉄也博士は、ここで「南極石」を発見しました。南極石は太古の海水の結晶です。

私（小椋）たちは、その貴重な石を少量いただき、主成分を取り出して分析しました。

そして、それが人間の体液（血液）とほとんど同じ成分を持ち、特に、微量元素（後述）の割合が羊水と大変似通っていることがわかりました。

地球の生命をはぐくみ、人間の生命を育て続けているこの原始海水の成分を、人が摂取しやすい形の結晶にできないものかと考えたのが、海洋ミネラルが作られる端緒となりました。「最古にして最新の物質」と言ったのは、そういう意味です。

早速、調査研究を開始し、能登半島沖、オホーツク海など、数箇所の海水を調べた中で、茨城県大洗沖の海面下100mの海水に、微量元素（微量ではあるが、体に必要不可欠なミネラル、鉄、亜鉛、マグネシウムなど）、プランクトン（水中に浮遊する小さな生物）、ピコプランクトン（非常に小さなプランクトン）などの有用成分が、最も多く含まれていることがわかったのです。

これを加熱、冷却、濾過することをくり返して、約1tの海水から1kg程度の結晶を得ることができました。その結晶から塩化ナトリウム（塩）をほとんど除去し、凍結乾燥して粉末としました。

この粉末の成分は、多量のカルシウムのほか、マグネシウム、ナトリウム、カリウム、鉄、亜鉛、セレンなど、実に60種類にものぼるミネラルです。

快眠が得られ シミも消えた

では、この海水の結晶から作られた粉末には、どのような作用があるのでしょうか。

私（荒川）は基礎医学が専門ですから、実際の治療における臨床面の成績について、言及する立場にありませんし、臨床家による裏づけが必要です。が、聞くところでは、糖尿病や肝臓病などに対して、優れた治療効果が得られているようです。

自分で飲んでみてまず感じた効果は、快眠と快便が得られたことです。

私（荒川）は夜、就寝前に、耳かき状の小さじ一杯の海洋ミネラルを、コップ一杯のミネラルウォーターで飲むことにしています。すると、寝つきがよく、深い快適な睡眠が得られるのです。6時間ほど熟睡した後の目覚めの気分は、

すっきりとして実にさわやかです。

また、便通を促す作用も優れています。最初に飲んだときは、量が多めだったことに加えて、この物質に対する体の感受性が敏感だったせいもあったのでしょう。1日の間に5度もトイレに行きました。そのたびに下痢状の便が出ましたが、しかし、不快な感じはなく、むしろ腹の中の余分なものがすっかり出てしまうような心地よさを感じました。

その後は、今述べたように、耳かき一杯の量を飲んでから床に就くようにしています。すると翌朝、ほとんど腹圧をかけることなく、腸管が空っぽになったような、残便感のない快便が得られるのです。たぶん、これは海洋ミネラル中のマグネシウムの作用だろうと思います。

85歳になった私の手の甲や顔面には、いわゆる老人斑（老人性のシミ）が現れています。これの一つに、試した海洋ミネラルの飽和液（水に最大限溶かした液）を毎日塗ってみたところ、かなり大きなシミが消えてしまいました。

そのほか、つめの伸び方が早くなりました。これは、海洋ミネラル中のカルシウムの作用でしょう。ともかく、このところ風邪もひかず、体調も上々であることの大きな理由の一つは、海洋ミネラルのおかげだろうと思っています。

年を取ると、誰でも体内の微量元素が不足がちになります。そのうえ、体内への微量元素を吸収する効率も悪くなってきます。このため、いろいろな老化現象が現れ、体調の低下が起こってくるわけです。

いくつかあの例を挙げると、亜鉛は、生殖機能と重要なかわりを持ち（それで亜鉛は、セックス・ミネラルとも呼ばれます）、亜鉛が欠乏すると、物の味がわからなく味覚障害も生じます。

マグネシウムは、神経と筋肉の機能が正常に働くのに不可欠で、これが不足すると動脈硬化が進み、心臓病を起こしやすいといわれています。

セレンは、酸化によって引き起こされる体に組織の老化を防ぎ、組織の若々しさを保つのを助けるといわれています。

ご存知のように、鉄が不足すると貧血を起こします。病気に対する抵抗力を増し、疲労を防ぐ作用も知られています。

カルシウムは、体内のミネラルのうち、圧倒的に多量を占めるもので、健康な歯と骨を作るために必要なだけでなく、心臓の働きを維持し、動脈硬化を防ぐためにも欠かせません。カルシウムが欠乏すると、筋肉と神経の障害が起こり、けいれん、気持ちのイライラ、不眠などが起こってきます。

以上のような成分をはじめ、60種類ものさまざまなミネラルがバランスよく含まれるのが海洋ミネラルなのです。

これを飲み始めた人たちから、肩こりが消えた、耳鳴りが止まった、偏頭痛が起こらなくなった、風邪をひかなくなった、よく眠れるようになった、白髪が

黒くなってきた・・・など、いろいろな朗報を聞きます。さまざまなミネラルの総合的な作用が、そうした効果をもたらしてくれるのでしょうか。

すでに述べたように海洋ミネラルは、海水の純粋結晶から塩だけを除去したもので、天然の食品です。

3年にわたる実験の結果、副作用のようなものは全く認められていません。

私（小椋）などの研究スタッフは、通常の用量なら数十日分にも当たる海洋ミネラルを、一度に服用するという人体実験も行ってみました。その結果、5日間、1日数回の下痢症状を見たほかは、なんらの悪影響も生じなかったことを証言しておきます。

医薬品ではなく、食品なので、厳密な用法や用量はありません。一般には、一回に耳かき1杯程度が適量ですが、軽い下痢症状（軟便）が見られる程度が、その人に最も適した量です。便秘がちの人などで、耳かき1杯では便通が見られないようなら、適宜増量するといいいでしょう。

糖尿病、肝臓病、ガンにまで効くと医師が注目の不思議な 海洋ミネラル 発見！

元東京大学医学部教授 荒川清二 腫瘍研究所特別研究員 小椋 武

海洋ミネラルには糖尿病の血糖値を下げ

ガンも防ぐ作用のあることが実験で判明

血糖値が正常値内まで下がっていった

私たちの実験で、海水の結晶を粉末にした「海洋ミネラル」には、血糖値（血液中の糖分値を示す数値）を下げる作用のあることがわかりました。この作用についての研究は、ある食品総合研究所所長の体験がきっかけとなって始まりました。

この人は長年、糖尿病を患い、常に注意深く血糖値のコントロールを続けてきたのですが、微量元素を摂取するための栄養補助食品として、海洋ミネラルを飲み始めました。すると、血糖値がコンスタントに安定するようになったので、「これは糖尿病にも効くようですよ」と言ってこられたのです。

たまたま、偶然の一致でそういう現象が起こったのか、それとも現実に海洋ミネラルの効果なのか、それを確かめるために、私たちは動物実験を行いました。マウス（実験用ハツカネズミ）に、ストレプトゾトシンという抗生物質（微生物から作られる薬）を注射すると、膵臓のランゲルハンス島という組織が壊れて、インスリンの分泌が激減します。

インスリンは、血統中のブドウ糖を処理するホルモンですから、インスリンの

分泌が減ると血糖値が高くなります。つまり、糖尿病になるわけです。これをインスリン依存性糖尿病といいます。

ストレプトゾトシン糖尿病マウスを用いた実験	
空腹時血糖値 (mg/dl)	
100	200
対照群	
海洋ミネラル群	

このインスリン依存性糖尿病の状態（空腹時の血糖値が150～240mg）のマウスを2群に分け、1つの群には海洋ミネラルの0.3%の溶液を、もう1つの群には普通の水道水を、それぞれ飲料水として自由に飲ませました。そして、約1ヶ月後の空腹時の血糖値を測定しました。

すると、水道水のグループのマウスには、血糖値がさらに上昇していましたが、海洋ミネラルのグループのマウスの血糖値は、100～120mgの正常値範囲まで下がっていたのです。

次に、遺伝性糖尿病マウス（成育するにつれて自然に糖尿病になるマウス）を2群に分けて、1群には、0.5%の海洋ミネラルの溶液を、別の1群には水道水を飲ませ、約3ヵ月後の空腹時の血糖値を測定しました。

遺伝性糖尿病マウスを用いた実験	
空腹時血糖値 (mg/dl)	
100	200
対照群	
海洋ミネラル群	

水道水のグループはその間に糖尿病を発症し、血糖値が最も低いマウスでも120mg 最も高いマウスでは240mgにも上がっていました。

しかし、海洋ミネラルの溶液を飲ませたグループでは、最も高い血糖値を示したマウスでも120mg止まりで、大部分のマウスが100mg前後の正常値内でした。明らかに糖尿病の発症が抑えられたわけです。

いったい、海洋ミネラルを与えたマウスと、与えなかったマウスでは、体の中でどのような異なった状態が生じ、そうした血糖値の差となって現れたのでしょうか。

マウスを解剖して、膵臓のランゲルハンス島を調べてみました。

海洋ミネラルを与えず、水道水だけを飲ませていたマウスのランゲルハンス島

は、小さく萎縮していました。一方、海洋ミネラルの溶液を与えていたマウスのランゲルハンス島は、やや大きくなって、その周りにリンパ球が集まっていたのです。

リンパ球というのは、体内で細菌などの病原体に対抗し、発病を抑える免疫の役目をするものです。このことから海洋ミネラルは、体の免疫力を強化するのではないかと考えられます。

「肝ガンが消えたようだ！」

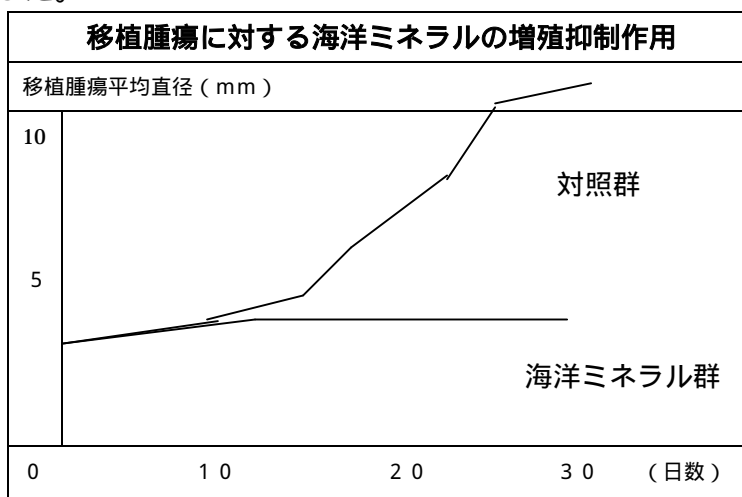
体の免疫力は、体の外から入ってきた病原体に対抗するだけでなく、体の中で異型化した細胞（ガンの芽）を殺す役目も果たします。そのため、免疫力が弱まると、その異型細胞の増殖が抑えられず、ガンが発生しやすくなるのです。

私たちは、次のような実験も行いました。

マウスに「肉腫180」というガンの種のようなものを注射した後、飲料水として水道水を与える群と、海洋ミネラルの0.3%の水溶液を与える群に分けて、経過を観察していきました。

約1ヶ月後、水道水のグループのマウスには、大きな腫瘍ができてしまいましたが、海洋ミネラルのグループのマウスには、全く何の変化も認められなかったのです。

これもやはり、海洋ミネラルによって免疫系が活性化した結果だろうと考えられます。



もっとも、こうした実験的に作られた動物のガンと、人間にできるような自然発生のガンとでは、本質的に異なるところがあります。人口のガンに効いたからといって、直ちに人間のガンに効くとは限らないのが普通です。

ところが、ごく普通の話ですが、海洋ミネラルを患者さんに使ってもらっている、ある公立病院の医師から

「肝ガンが消えたようだ！」という電話がかかってきました。

この医師が担当していた患者さんで、長年のアルコール依存症のために肝臓を痛め、アルコール肝炎 肝硬変（肝細胞が壊れて肝臓が硬化する病気） 肝ガンと進行したため、ガン専門の病院へ送った人がいました。

ところが、検査の結果、「手術不適応」ということで、また元の病院へ送り返さ

れてきたそうです。

それが昨年 11 月下旬のことで、患者さんは衰弱が激しく、食事を取ることができず、輸液の点滴で栄養補給をしていて、「今月いっぱいもつか、どうか」と、医師たちが首をひねる状態だったということです。

もう手のうちようがないので、ほとんど気安めのようなつもりで、この患者さんに海洋ミネラルの溶液を水代わりに飲んでもらうことにしました。(11 月 22 日)。すると、次第に容態が好転してきて、12 月 12 日には食事できるようになりました。

日増しに顔色が戻り、自力で立って歩けるようになったので、暮れには一時帰宅して、正月を自宅で迎えるほどに回復しました。むろん、その間も、持ち帰った海洋ミネラルをそのまま服用したり、水に溶かして飲んだりしていたそうです。

この患者さんが 1 月 4 日、病院に帰ってきたので、6 日の日に検査をしたところ、肝臓の 4 ヲ所から採取した組織のどれからも、ガン細胞が検出されなかったということです。

これからさらに細密検査を続けるが、今日(1 月 7 日)現在、「奇跡が起こったとあっていいようだ」と普段は冷静な医師が、少なからず興奮した口調でした。これまでも、肝機能の検査値が改善した例は、何例も報告されていますが、これほどきわだった著効例を聞くのは初めてのことです。

これから、海洋ミネラルの未知の作用が数多く明らかにされてくるでしょう。私たちは今、そんな予感を感じています。

糖尿病、肝臓病、ガンにまで効くと医師が注目の不思議な 海洋ミネラル 発見！

医学ジャーナリスト 丸山 寛之

海洋ミネラルを重症の肝臓病患者に飲ませたら

GOT、GPT の肝機能値が改善

血圧が正常値に下がった人もいる

海水の結晶からつくられた「海洋ミネラル」を飲んだら、高かった血圧が下がった、肝臓病の人の GOT とか GPT など肝機能検査値が改善した、二日酔いがいっぺんに消えた……といった話を耳にしました。

海洋ミネラルといえば、食塩じゃないのか。だったら、そんなものを飲んだら、あべこべに血圧が上がるんじゃないのかなあ？

肝機能の検査値というのは、よく上がったたり下がったりするもので、それにと

らわれて一喜一憂してはいけないと、専門医は助言しているし、はたして、海洋ミネラルの効果だったのかどうか、わからないんじゃないかなあ？

そんなことを思いながら、問題の海洋ミネラルを研究している小椋 武氏（腫瘍研究所特別研究員）の話を伺いました。

小椋氏によると、海洋ミネラルの作用が、最も早く現れるのが高血圧で、飲み始めてから 20 日くらいで血圧が下がり始め、1 ヶ月くらいで正常値になったケースもあるということです。

海洋ミネラルは、海水の結晶から作られますが、塩化ナトリウムがほとんど除去されていて、塩分についての心配は全く要らないそうです。

肝臓の検査値が正常になった

肝臓病に関しては、C 型肝炎、アルコールや薬物（制ガン剤、睡眠薬、その他の副作用）による肝機能障害について、約 40 例のデータが得られ、そのうち 32 例が「有効」と判定されている、と聞きました。

C 型肝炎などの検査データは、ある公立病院の医師から報告されたものです。3 つの症例をご紹介します。

症例 1

K・Y さん（41 歳・男性）。慢性の C 型肝炎。インターフェロン（肝臓病やガンの治療に用いられる薬）の注射を週 3 回続けていたが、副作用が現れたため、中止。海洋ミネラルを試してみた。

服用を開始した平成 5 年 5 月 7 日の肝機能検査値は、

GOT = 308 GPT = 137 だったが、

1 週間後の 14 日には

GOT = 297 GPT = 110

26 日

GOT = 101 GPT = 69

6 月 1 日

GOT = 68 GPT = 48

と正常値に回復。体の症状も改善し、通常の勤務に復帰した。

症例 1 K・Y さん（41 歳・男性）の検査値データ

DATE	5 / 7	5 / 14	5 / 26	6 / 1
GOT	308	297	101	68
GPT	131	110	69	48
GTP	723	461	237	186

症例 2

S・K さん（53歳・男性）。慢性アルコール肝炎。平成5年3月10日、海洋ミネラルを服用開始。

GOT = 59 GPT = 20 GTP = 169

4月26日

GOT = 73 GPT = 58 GTP = 61

5月26日

GOT = 48 GPT = 26 GTP = 49

6月1日

GOT = 47 GPT = 30 GTP = 40

6月11日

GOT = 39 GPT = 27 GTP = 38

症例 2 S・K さん（53歳・男性）の検査値データ

DATE	3 / 10	4 / 26	5 / 26	6 / 11
GOT	59	73	48	39
GPT	20	58	26	27
GTP	169	61	49	38

症例 3

R・N さん（41歳・男性）。慢性のC型肝炎。副作用が現れたため、インターフェロンの投与を中止。海洋ミネラルを試してみた。

服用を開始した5月12日

GOT = 366 GPT = 58

17日

GOT = 102 GPT = 34

25日

GOT = 68 GPT = 53

6月1日

GOT = 49 GPT = 22

全身のけん怠感、食欲不振など、体の症状も改善され、現在は体調に気を配りながら普通に働いている。

以上のような作用は、どのような理由によるものか、杏林大学医学部教授（生化学）で、この海洋ミネラル研究会の会長でもある脇坂 晟先生の解説は次の

ようなものです。

症例3 R・Nさん(41歳・男性)の検査値データ

DATE	5 / 1 2	5 / 1 7	5 / 2 5	6 / 1
GOT	3 6 6	1 0 2	5 3	4 9
GPT	5 8	3 4	2 0	2 2
GTP	1 7 5	4 4 0	2 1 9	1 6 7

「この作用については、最初に荒川 清二先生(元東京大学医学部教授)と小椋 武さんによってなされたのですが、動物の移植ガンに対する実験と、糖尿病マウス(ネズミ)に対する実験が、どちらも非常に優れた成績を上げられた。肝機能については、臨床的な治療報告だけで、基礎的な実験はなされていません。だから、このものが体の中でどのように作用し、どのようにして肝臓病に効くのかという作用機序は、全くわかっていないのです。

推測の域を出ない意見ですが、海洋ミネラルには、何らかの生理活性物質(体の生理機能を活性化する物質)が含まれていて、これが免疫系(病原体などに対抗する働き)を活性化させる、というような機序が、その根底にあるのではないかと思っています。

こうした実験研究は、1カ所の医療機関や研究施設だけでは信ぴょう性の高いデータが得られにくいので、現在、高血圧に関する実験を、2つの国立大学の研究室に依頼して進めているところです。」

糖尿病、肝臓病、ガンにまで効くと医師が注目の不思議な 海洋ミネラル 発見!

東京都 46歳 看護師 小島 真理子

海洋ミネラルを毎日飲んだら直径3cm以上

あった子宮筋腫が消失した看護師の私

重苦しい気分から解放された

私が「海洋ミネラル」を飲み始めたのは、半年ほど前のことだったでしょうか。知人が「体に良い」と勧めてくれました。

そのとき、何かに期待したわけではありません。体に良いならば、という軽い気持ちで飲み始めたのです。

それが不思議なことに、子宮筋腫(子宮にできる良性に腫瘍)に効果がありま

した。

一昨年の11月、おなかが痛くなりました。病院で検査を受けたところ、子宮筋腫だとわかったのです。

子宮に筋腫(筋肉にできる腫瘍)ができると、出血する人も少なくありません。でも、私の場合は、出血などはなかったので、少し様子を見ることにしました。筋腫は、子宮の後ろのほうにできていたそうです。縦が3.4cm、横が3.6cm程度のものでした。こう書くと、けっこう大きいもののような感じがします。

しかし、「すぐに手術する必要はない」と医師に言われました。そこで、「しばらくの間、様子を見ましょう」ということになったわけです。

おかげさまで、その後も大きくならず、手術はしないで過ごしてきました。

この子宮筋腫が、なんと消えてしまったのです。

海洋ミネラルを飲み始めて、3ヶ月ぐらいたったころでしょうか。定期健診を受けたら、「筋腫がなくなっている」といわれました。

海洋ミネラル以外には、何も変わったことをしていません。海洋ミネラルが役立ったことは、ほぼ間違いないでしょう。

子宮筋腫は良性のものですから、特に心配はしていませんでした。それでも、手術する日が来ないとは言い切れません。ですから、腫瘍があるというのは、なんとなく重苦しい気分でした。

その気分から解放されて、ホッとしたことはいうまでもありません。

血圧の安定にも役立っている

海洋ミネラルは、血圧の安定にも役立っているような気がします。

私は、病院勤務の看護師です。10年ほど前、たまたま看護学校の学生の血圧測定の実験台になり、血圧が高いことを知りました。

はっきりした数値は覚えていませんが、上(最大血圧)が150ミリか160ミリ程度だったと思います。

確かに、私は塩辛いものが好きでした。

血圧が高いことを知ってから、気をつけるようになりましたが、1日の塩分の摂取量を10g以下におさえることが、なかなかできません。

そのせいでしょうか。ほうっておくと、血圧は上が180ミリ、下(最小血圧)が120ミリ程度まで上がってしまいました。そこで、降圧剤(血圧を下げる薬)を飲む生活になりました。降圧剤を飲んでいれば、だいたい上が120ミリ、下が80ミリ程度に下がったのです。

最近、降圧剤の品質が上がっているようです。

しかし、ずっと薬を飲み続けると、弊害が出る危険もあります。ですから、私

は、肝臓の機能などを定期的にチェックしています。
今のところ、問題は出ていないのですが、それでも、降圧剤から別れられれば、それにこしたことはありません。
その意味でも、今後、海洋ミネラルが役立つのではないかと期待しています。
最近、血圧が適当な数値で安定してきたからです。
現在は、降圧剤と海洋ミネラルを併用しています。しばらく様子を見て、血圧の安定に効果があるとわかれば、降圧剤を減らしてもよいかもしれません。
また、工作中、ときどき不整脈（脈が不規則になること）が出ていました。この不整脈の頻度も減ったように感じます。
私は海洋ミネラルを毎晩、耳かきのような小さじに山盛り1杯ずつ、コップ1杯の水で飲んでいきます。

杏林大学医学部生化学第二 医学博士 藤井 聡

自然な形で多種類の微量元素を含む

中高年に至ると、私たちの体の中では、老化とともに、酵素（体内で起こる化学反応を促進する物質）の働きをはじめとする細胞の機能の減退が始まります。生体の恒常性（バランス）に影響が出始めるのです。

細胞での酵素の機能は、さまざまな微量元素の働きによって保たれていますが、現代人の食生活では、食物から摂取される各種の微量元素が不足しているようです。

海洋ミネラルは、自然な形で多種類の微量元素を含んでいるため、崩れかけた生体の恒常性を元に戻す、なんらかの効果が期待できるように思います。

海洋ミネラルに関する動物実験で、海洋ミネラルを投与したネズミでは、移植されたガン細胞の増殖がおさえられたという結果が出ています。そのメカニズムとして、免疫細胞（病原体などに対抗する働きを持つ細胞）の活性化が推測されています。現在、それらを明らかにするために、さらに詳しい実験が進められているところです。

小島さんの子宮筋腫の場合、良性の腫瘍です。良性の腫瘍が縮小・消失するという作用に対する、海洋ミネラルの実験的な検証は行われていません。そのため、海洋ミネラルを服用したこととの因果関係についてはわかりません。

ただし、海洋ミネラルが、崩れかけた生体の恒常性を良い方向に修正したのかもしれないと推定され、今後のデータの蓄積・解析に期待するところです。

海洋ミネラルで血糖値が下がって糖尿病が 軽快し足のしびれも起こらなくなった

1ヶ月で正常値近くまで下がった

あるパーティー会場でのどが渴きました。それも異常なほど渴いたのです。14年前、私が39歳のときです。

たまたま、年配の糖尿病の人がいて、「すぐに病院に行ったほうがいい」と忠告されました。

忠告に従って病院にいくと「立派な糖尿病です」と医師に言われました。血糖値（血液中の糖分量を示す数値で、正常値は110mg以下）が200mg程度あったのです。

当時、私は体重が75kgで、かなり太っていました。よく食べ、よく飲みました。

当然、病院で食事療法を指導されました。しかし、糖尿病という病気は、初期のころは痛くもかゆくもありません。「15年位したら、合併症（ある病気の進行に伴って起こる他の病気）が出ますよ。」と医師に脅かされても、実感が出なかったのです。

こうして、ずるずると合併症に悩まされる患者が、非常に多いようです。

私も、その1人でした。

もちろん、食事療法が良いことはわかっていますから、以前ほど食べることはありません。私としては、ぐっと食事の量を減らしたつもりです。それに、アルコールも家ではほとんど飲まなくなりました。しかし、会社関係のつきあいでは、飲んでしまったのです。

それから10年以上たち、今から1年半前、ついに合併症が出てしまいました。眼底出血（目の奥に分布する血管からの出血）を起こしたのです。そのとき、血糖値はなんと352mgもありました。

眼底出血は、1度だけではありません。何度か起こしました。出血すると、視界がぼーっとしてくるので、自分でもわかりました。

出血したときは、レーザーで焼いて出血をおさえる治療を受けました。このレーザーの治療を、合計で4回受けたのです。

とうとう、「このままでは死にますよ。半年で目が見えなくなりますよ」と医師に宣告されてしまいました。

私は目が覚めました。

以後、完全にアルコールを断ったのです。正確に計算はしていませんが、食事はだいたい1日に1500~1600kcalにおさえています。また、運動も必要なので、1日1万歩を目標に速足で歩いています。

こうして、血糖値は200mg程度に、まれには180mg程度にまで落ちました。

しかし、体が疲れました。そこで、近所の薬局に相談して、ニンニクと高麗人參のエキスを配合した健康食品を飲むようにしました。この健康食品で、体のパワーはつきました。食事を減らして運動しても、つらくなかったのです。

しかし、血糖値は下がりません。

この血糖値を下げるのに役立ったのが海水の結晶を粉末にしたという「海洋ミネラル」です。

同じ薬局から、「試しにやってみませんか？」と勧められ、「じゃあ、私の体で実験してみましょう」という感じで始めました。1年ほど前のことです。

それほど期待していなかったのに、海洋ミネラルには絶大な力がありました。

なんと、飲み始めて1ヵ月後には、血糖値が130mgに下がったのです。これは正常に近い値です。

頑固な水虫も消失した

2ヶ月くらいたって、自覚的にもすばらしい効果が出てきました。

実は、やはり糖尿病の合併症として、左足がいつもしびれていました。そのしびれが取れたのです。また、頑固な水虫にも悩まされていましたが、これも消失しました。

どちらの症状も、糖尿病によって体の血行が悪くなったことが原因として考えられます。それらが治ったということは、糖尿病による血行障害も改善してきている、ということではないでしょうか。

私の場合、血糖値が150mg以上だと、眼底出血を起こしやすくなるようです。それを下回っていると、出血しません。

海洋ミネラルを飲むようになってから、血糖値は低いときは93mgまで下がり、高いときでも130mg前後になったので、レーザー治療の必要もなくなりました。

友人たちは、「いつ死ぬか」と心配してくれていたようです。それが、あまりにも元気になって、みんな驚いています。現在、体重は56kg、野菜中心の食事ですが、本当に健康です。

海洋ミネラルを1回に飲む量は、耳かきのような小さなスプーンに山盛り2杯です。これを朝、昼、晩の3回、毎日欠かさず飲んでいきます。

海洋ミネラルを友人たちにも勧めたところ、次のような効果が現れました。

友人 1

血糖値、血圧が高く、心筋梗塞（心臓の血管が詰まって起こる病気）で倒れた。何をやっても体調が良くなり、憂鬱になって、死に場所まで考えた。それが、海洋ミネラルを飲み始めたら、体の調子がよくなった。血糖値は、1ヶ月で160mgから103mgまで落ちた。

友人 2

血糖値が高い。「1年も病院に来ないから」と、病院の院長から呼び出された。が、「必ず悪いことを言われる」と、病院に行きたがらなかった。この人はアルコールがやめられない。しかし、海洋ミネラルを飲むようになったら、1ヶ月で、170～180mgあった血糖値が、120mgに下がった。

杏林大学医学部生化学第二 医学博士 藤井 聡

動物実験でも血糖値の上昇が抑制された

糖尿病のネズミ（ラット）を用いて、海洋ミネラルの効果を調べてみると、海洋ミネラルを投与した群のネズミは、投与しなかった群のネズミに比べて、血糖値の上昇がしだいに抑制されていくという結果が出ています。

糖尿病、肝臓病、ガンにまで効くと医師が注目の不思議な 海洋ミネラル 発見！

東京都 47歳 会社役員 村岡 浩一（仮名）

海洋ミネラルを朝晩飲んだら肝機能値が正常になり体のむくみやだるさも取れた

これが良く効いた！

私は3年前、検診で「肝臓の機能が悪い」と指摘されました。GOT、GPTの肝機能値が、正常より3倍くらい高かったのです。

ちなみに、GOT、GPTは、肝細胞の障害の有無をチェックする検査値で、GOTは8～40単位、GPTは5～35単位が正常とされています。

肝臓の機能が悪いと指摘されて、「そういえば」と気づきました。体が非常に疲れやすくなっていたのです。ちょっと運動をすると、てきめん疲れしました。また、手のひらが少しむくんでいました。足は、さらにむくみがひどく、靴下

を履くと、靴下が伸びるような感じがしました。
それに、酒の酔いが回りやすくなったようです。
元来、私はアルコールに強いほうです。1日おきらいには飲んだし、ウィスキーなら、ボトル1本空けていました。それでも、2日酔いに悩まされたことはありませんでした。
それが、ここ1～2年、翌朝、10時ごろまで気分が悪くなったりしました。軽いものですが、2日酔いの症状です。
検診の後、私は、医師から薬をもらって飲むようになりました。
アルコールにも気をつけました。飲む回数を少しへらし、量は半分にしました。つまり、ウィスキーなら、ボトル半分にしたのです。
にもかかわらず、一向に効果が上がりません。そこで、近所の薬局に相談して、次々といろいろな健康食品を試みました。
しかし、よい結果は得られず、去年の梅雨ごろには。体のだるさがひどくなってしまいました。一番悪かったのは6月ですが、その前から不調で、会社を4日も休んでしまったのです。
そんなとき、やはり近所の薬局で勧められたのが、「海洋ミネラル」でした。これがよく効きました。

全く2日酔いしなくなった

私は、海洋ミネラルを朝、晩、添付されている耳かきのような小さなスプーンに山盛り1杯ずつ、コップ1杯のぬるま湯に溶かして飲んでいました。
飲み始めて2ヵ月後の8月、ゴルフに行きました。
このとき、「海洋ミネラルが効いた」と実感しました。運動をすれば疲れる、それが普通になっていました。なのに、全然疲れなかったのです。
足のむくみは、それから少し後のお盆ごろ、「引いてきたな」と感じました。足のむくみは、靴がはけないほどひどいものではありません。ですから、実害はなかったのですが、不快でした。それが、すっきりして、気持ちよくなったのです。
手のひらのむくみのほうは、その1ヶ月前から引いていました。
また、酒の酔いの回りも少し遅くなってきました。それに、2日酔いしなくなったのです。
去年の9月10日検査を受けました。すると、GOT、GPTが、ともにほとんど正常になっているではありませんか。
自分自身が感じたとおりの結果が、数値でも表れたわけです。
以後、日々のだるさもなく、運動しても疲れず、ずっと快調です。

肝機能が改善した臨床例の報告が多い

現在、海洋ミネラルを服用により、肝機能が改善したという臨床例が多数報告されています。そのメカニズムについては、いまだわかっていませんが、肝細胞を活性化するのに、海洋ミネラルに含まれる微量元素の働きが関与しているようにも思えます。

糖尿病、肝臓病、ガンにまで効くと医師が注目の不思議な 海洋ミネラル 発見！

静岡県 54歳 主婦 佐々木 もと子(仮名)

海洋ミネラルを1ヶ月飲んだら尿たんぱく、 コレステロール値、中性脂肪値が改善

優れた健康食品に出会えた

私は18年ほど前、検診で「糖尿病の気がある」と言われました。しかし、特に症状がなかったので、ほうっておきました。

これがいけなかったのでしょうか。9年前からは、糖尿病の薬を飲まなければならない状態になったのです。

それに、目と肝臓に合併症（ある病気の進行に伴っておこる他の病気）もできました。

目は、眼底出血（目の奥に分布する血管から出血）を起こしました。1度、目の奥をレーザーで焼く治療を受け、以後、眼底出血は起こしていません。

しかし、肝臓のほうは機能が弱り、尿たんぱくが、陽性の「プラス3」の状態が続いていました。

食事は、1日1200kcalにするように指導されました。これは非常に少量です。ほとんど体を動かさなくても、おなかですくほどです。

私は、朝から乳飲料の販売で体を使います。1200kcalでは足りず、どうしても1400kcal程度食べてしまいました。

そのせいか、薬を飲んで、ときどき血糖値（血液中の糖分量を示す数値で、正常値は110mg以下）が200mgになりました。ふだんは140mg程度です。

こんな調子なので、健康食品などもいろいろと試しました。が、なかなか有効なものとは巡り合えませんでした。

ところが、3ヶ月前ほどになるでしょうか。優れた健康食品に出会うことができました。健康教室のようなところで、「海洋ミネラル」を勧められたのです。海水を結晶化して作ったものだそうです。

「脂肪もいいようだね」

私は、朝、昼、晩の3回、食後に海洋ミネラルを飲むことにしました。添付の耳かきのようなスプーンに1杯、水で飲んだのです。海洋ミネラルは、まずいものではありませんが、多少苦いので、水で飲むと楽です。

これを始めて、1ヵ月後に効果が現れました。私は1ヶ月に1回、病院で検査を受けるようにしています。

その定期的な検査のとき、海洋ミネラルの効果がわかったのです。

まず、尿たんぱくが「プラス2」になっていました。いつも「プラス3」だったので、看護師さんが驚き、「何かやっているの？」と聞いたぐらいです。

また、医師から「コレステロール、中性脂肪（皮下脂肪の主成分）の検査値が下がっている。これくらいだったらいいね。脂肪肝（肝臓に脂肪がたまる病気）もいいようだね」と言われました。

数値はわかりませんが、1年前から、コレステロール値と中性脂肪値が高いと言われていたのです。

また、肝臓に脂肪がたまっていることも指摘されていました。実は、私はカロリー制限をしながらも、少しアルコールを飲んでいました。これが、脂肪肝の原因かもしれません。

とにかく、そのすべてによい影響が出たわけです。

血糖値は、130mg程度でした。たくさん食べていたにしては、少し下がっていました。

看護師さん同様、私も驚き、本当に海洋ミネラルの効果かどうか、試してみたいきがしました。それで、その後1ヶ月、海洋ミネラルを中止してみたのです。

すると、次の検査で、すべての数値が上がって、元に戻ってしまいました。

「やっぱり効いていたのか」と、海洋ミネラルを再開しました。そして、次の検査のときには、またすべての数値が下がっていたのです。

1つでもよくなればうれしいのに、海洋ミネラルは、いくつもの不調を改善してくれました。大変ありがたいことです。

杏林大学医学部生化学第二 医学博士 藤井 聡

高血圧に関しても動物実験の最中

糖尿病や脂肪肝の治療は、病気の重症度によって、入院治療と外来治療に分かれています。いずれの場合でも、主治医から薬物療法に加えて、食事療法、運動療法が処方されます。

特に糖尿病は慢性病であり、かつ神経系、心臓血管および腎臓泌尿器系に合併症を引き起こすので、患者さんは、病気と付き合ううえで、苦労されることが多いと思います。

ですから、糖尿病や脂肪肝の治療全般については、主治医との綿密なコンタクトが必要です。

また、海洋ミネラルの作用については、糖尿病などに対する動物実験が行われていますが、高血圧に対する動物実験も着手されています。高血圧については、データを蓄積している最中で、まだ作用のしくみを明らかにするには至っていません。

アトピーが治った、肝臓病に効いた、10kg減量した家でできる 海水療法 発見！

埼玉県 46歳 会社員 小田 賢一郎（仮名）

海洋ミネラルを毎日飲んだらGOT、GPT の数値が下がりB型肝炎が劇的軽快

GOT、GPTを下げる薬はない

私は20歳代のとき、会社の健康診断で、肝臓の機能に少し問題があると指摘されました。

正確な数値は覚えていませんが、GOT、GPTの肝機能検査値がともに40～60程度だったと思います。GOTは8～40、GPTは5～35が正常とされているので、40～60というのは、確かにちょっと高めです。しかし、当時は大して気にしませんでした。

ところが、気にしなければならぬときが訪れたのです。

平成2年、背中が痛くなったので、病院でさまざまな検査を受けました。すると、GOTが130、GPTが80に上がっていたのです。3桁になっていたのはショックでした。詳しい検査の結果、「B型の慢性肝炎」と診断されました。

（B型肝炎とは、細菌より微小のウィルスの感染で起こる肝炎の一種）

その後、背中痛みはなくなりましたが、肝機能値は改善しませんでした。医師に「GOT、GPTを下げる薬はない。」と言われたのです。

それでもいちおう、体質改善に有効とされる漢方薬などを飲んでみましたが、やはりGOT、GPTは下がらず、同じくらいの数値が続きました。

肝炎のせい、仕事の疲れが原因なのかわかりませんが、しだいに体がだるくなってきました。そして、だんだんと恐ろしくなってきたのです。

「肝臓がボロボロになって、肝硬変に進み、肝臓ガンにまで移行したら……」と考えると、夜も眠れません。(肝硬変とは、肝細胞が壊れて肝臓が硬くなる病気)

医師は、「西洋医学の薬は有効な場合もあるが、一方では副作用もある」と言いました。そこで、次々と民間薬や健康食品を試みました。

市販の健康食品は高価なものが多く、けっこうお金がかかります。それでも、肝臓の機能が回復するのなら、惜しくはありません。こうして、何種類も食べたり飲んだりしましたが、そのつど、がっかりして、諦めに近い心境になりました。

ところが、去年の春に巡り会った海洋ミネラルは違いました。これは、茨城県沖の黒潮の海水を結晶化して作ったものだそうです。

ますます数値が下がってきた

海洋ミネラルは、『壮快』(平成6年3月号)で知りました。記事には肝臓病の患者さんの検査値のデータが載っていて、2人の患者さんのGOT、GPTが見事に下がっていました。

当初の値は、私よりはるかに上でした。

私も海洋ミネラルを入手して飲み始めてからは、丁寧にデータを保管するようになったのです。

1ヵ月後の4月は、GOTが80、GPTが120でした。開始前とほとんど同じ値です。何度も落胆しているので、こんなものかと思いました。ところが、『壮快』を読み直して、「方法が違っていたかな？」と気づきました。これが効を奏したのです。

当初は1日に3回、耳かきのような小さじに1杯ずつ飲んでいました。この量では便通に変化がありませんでした。『壮快』には「便が緩くなるくらいを目安にすると良い」と書かれてあったのです。

私は朝と晩の2回、耳かきのような小さじに3杯ずつ、飲むようにしてみました。それが私の適量だったのです。便はかすかに緩めになりました。

そして、翌月の5月には、GOTが28、GPTが39に下がったのです。びっくりしました。というより、間違いじゃないかと信じられない思いでした。それで、別の病院で検査を受けてみたら、うれしいことにだいたい同じ値でした。

その後は、少しは上下するものの、目だって数値が上がったことはありません。そして、今年に入ってからは、ますます数値が下がってきました。

平成7年の2月には、GOTが22、GPTが28、3月にはGOTが22、GPTが22でした。

医師も驚いています。「GOT、GPTを下げる薬はない。」と言っていたのですから、驚いて当然でしょう。

杏林大学医学部生化学第二 医学博士 藤井 聡

B型肝炎が改善したのは驚異的なこと

海洋ミネラルが、B型ウイルスによる慢性肝炎を改善し、かつ、副作用らしいものがほとんどないということは、驚異的なことです。海洋ミネラルに適度に含まれる微量元素が、肝臓の細胞機能を活性化させたり、体内でインターフェロンなどの物質の産生を助けて、免疫（病原体と戦う働き）の機能を活性化させ、ウイルスの活動を押さえ込んだりしたためかもしれません。

アトピーが治った、肝臓病に効いた、10kg減量した家でできる 海水療法 発見！

大阪府 46歳 主婦 佐々木 基子（仮名）

重症の肝炎の知人が「ものすごくいい」

と勧めた海洋ミネラルで私の肝炎も軽快

「死んだほうが楽なんちゃうか」

「私もいっぺん血液検査を受けてみよう」

そう思ったのは、昭和天皇がお亡くなりになる前の年の9月です。

「敬老の日が済んだら、結果を聞きに行こう」とのんびり構えていたら、病院から連絡が入りました。

早速、病院にいくと、「肝臓の状態が悪いから入院が必要です。」と言われたのです。そのとき、GOT、GPTの肝機能検査値がともに300を超えていました。GOTは40以下、GPTは35以下が正常とされているので、重症でした。

本来なら自覚症状があっても当然です。しかし、私はあまりにも忙しい毎日を送っていたので、体のだるさを感じている暇などありませんでした。

当時、9時から5時まで外で働いていました。家では、姑が寝たきりだったので、介護をしなければなりません。舅のための昼食の用意も必要でした。また、子供たちのお弁当も作らなければなりません。

無茶だったのでしょう。知らないうちに肝臓がダメージを受けていたようです。すぐに入院して、点滴などの治療を受けましたが、数値は下がりませんでした。医師は私がショックを受けることを心配して、正確な数値を教えてくれませんでした。1、2ヶ月は300代が続いていたようです。また、肝臓病の原因についても「活動性ウイルスによる肝炎らしい」程度しか教えてもらえませんでした。(ウイルスとは細菌より微小の病原体)

入院生活は半年ほどに及びました。

退院時には、GOT、GPTはともに150程度になりました。再び勤めに出ましたが、体がだるいので退職しました。その後、姑も亡くなりました。

このため、仕事量はぐっと減りましたが、それでも、だるかったのです。退院後4ヶ月目には、検査値はまた200ぐらいに上がりました。

しかたなく、毎日のように点滴に通いました。それから、点滴を続ければ数値が下がり、100~200を上下していました。

数値も大事ですが、日常生活では体のだるさが重大な問題でした。いつもだるく、トイレに入ると、ふわっと座り込みたくなりました。買い物に出ても、レジの前に立つのが苦痛で、立っていられなくなったのです。「死んだほうが楽なんちゃうか」と何度そう思ったかわかりません。

少しでもしんどさが取れたらと期待して、いろいろ健康食品も試してみましたが、どれも役に立ちませんでした。

ところが、去年の夏、友人(52歳・女性)から、海洋ミネラルを勧められたのです。

友人は重症の慢性肝炎で、入退院を何度もくり返していました。この友人が海洋ミネラルのことを「ものすごくええわ」というのです。飲むと元気が出るのだそうです。

肝硬変に進まないと言われた

私はすぐに海洋ミネラルを購入しました。日本近海の海水を結晶化し、粉末にしたものです。

私は1日に4回、海洋ミネラルを飲みました。朝、昼、夕の3回は、耳かきのようなさじに山盛り2杯ずつ、寝る前には山盛り3杯飲みました。海洋ミネラルを口に含み、牛乳で一気に飲み干したのです。

友人の肝炎に役立った海洋ミネラルは、私にも効きました。1ヵ月後の検査で、GOT、GPTがともに30代に下がっていたのです。

その後、体のだるさも取れていきました。病気にかかっているような感じがしないのです。「死んだほうが楽……」などと考えることもなくなりました。数値も正常範囲で安定、今年は20代で落ち着いています。点滴の必要もなく

なりました。

医師からは「活動性だったのが、非活動性になった。落ち着いているから、肝硬変には進まない」と言われています。(肝硬変とは、肝細胞が壊れて肝臓が硬くなる病気)

海洋ミネラルは、私にとって欠かせないものになりました。

杏林大学医学部生化学第二 医学博士 藤井 聡

微量元素が肝臓の細胞機能を活性化

佐々木さんの活動性の慢性肝炎の改善に、海洋ミネラルが有効であったのは、その重要成分である微量元素が作用したのではないかと思われます。海水や土壌にごくわずかに含まれる鉄、亜鉛、マグネシウム、コバルトなどの元素は、最近の研究で、人体でも重要な役割を行っていることがわかってきました。この微量元素が、肝臓の細胞機能を活性化させたのでしょうか。

アトピーが治った、肝臓病に効いた、10kg減量した家でできる 海水療法 発見!

神奈川県 48歳 公務員 飯岡 隆

高かった肝機能値「ガンマGTP」が 海洋ミネラルで下がり慢性の疲労感も消失

肝炎とは思えないほど色つやが良い

私は休日は運動がてら、犬と散歩に出かけています。ところが、今年のゴールデンウィークの終わりごろ、どうしても散歩をする気になれませんでした。脱力感というか虚脱感というか、今までにない疲労感に襲われたのです。

寝不足だったり、残業が続いたりすると、疲れが残ることがありますが、そのときの疲労感は、そういう単純なものではないような気がしました。「ひょっとしたら肝炎かな？」と不安になりました。

そういえば、肝機能が少し落ちていたな、と頭をよぎりました。毎年、職場の健康診断がありますが、7年ほど前から、肝機能検査値の1つであるガンマGTPが高いと指摘されていたのです。

ガンマGTPは、アルコールを飲む量と関係が深いと言われています。よく飲む人はガンマGTPが高いそうです。しかし私の場合、それほど酒量が多くはありません。夏は毎日ビールを1本ぐらい飲みますが、他の季節はビールを1

本ずつ、週に2回程度飲むのがいいところです。

指摘されてからは、さらにアルコールを控えるようにしました。徐々に数値は下がり、110だったガンマGTPは、2,3年後には41まで下がったのです。ちなみに、正常値は40以下とのことでした。

ところが、2年前、再び数値が130に跳ね上がってしまいました。転勤して、2週間に80時間残業したり、お酒を付き合う機会が増えたのがいけなかったのでしょうか。

しかし、肝機能の他の検査値(GOT、GPTなど)は問題ありません。忙しいし、めんどくさく、ほうっておきました。

しだいに、慢性的に疲労を感じるようになりまして。1年間、常に疲れていたような気がします。そして昨年5月、虚脱感に襲われたのです。顔の色つやも良くありません。

肝炎を心配しましたが、病院に足を運ぶのも厄介です。

そこで、書店で『壮快』を購入。そこに載っていた海洋ミネラルが役に立ちそうに思えました。日本近海の海水を結晶化し、粉末にしたものだそうです。

海洋ミネラルを買いに、勤め先の近くの薬局に立ち寄ったところ、たまたま、海洋ミネラルを飲んでいるお客さんがいて、話を聞かせてくれました。その人はC型肝炎で(細菌より微小なウィルスの感染で起こる肝炎の一種)での治療を受けていました。私も新聞などで、インターフェロンに副作用があることは知っていましたが、その人もインターフェロンの副作用が現れたそうです。

それで、インターフェロンが怖くなって、知人の勧めもあり、海洋ミネラルを試したら、1週間で劇的に改善したというのです。確かに、その人を見ると、肝炎の人の顔とは思えないほど、実に色つやが良かったのです。

効き目が早く出てびっくりした

私も海洋ミネラルを購入しました。1日に朝、昼、夕、寝る前の4回、耳かきのようなさじに1,2杯ずつ飲みました。効き目は早く出ました。私の場合、10日ぐらいで、顔の色つやがよくなってきたのです。自分でも正気のない顔だと思っていたので、びっくりしました。

しだいに、疲労感も消失していきました。そして、海洋ミネラルを飲み始めて1ヵ月半後にあった7月の健康診断では、ガンマGTPが70まで下がっていたのです。

これは素人考えですが、海洋ミネラルには、もともと土に含まれるミネラル分が多く含まれているのではないのでしょうか。最近、ハウス栽培、連作などで野菜が本来の野菜ではなくなっています。土から得られるミネラル分が不足していると考えられます。したがって、豊かな土の恩恵を受けない野菜ばかりでは、

人間の体もミネラル分が不足していきます。このため、体調が悪くなることもあるのではないのでしょうか。

私の場合も、海洋ミネラルに含まれるミネラル分を補給することで、体調が良くなったのでしょうか。今後も、海洋ミネラルを常備薬のようにしていきたいと思えます。

杏林大学医学部生化学第二 医学博士 藤井 聡

本来備わっている治療能力をたすけた

以前、『壮快』(平成6年3月号)に掲載された報告例や、今回の報告例を見ると、海洋ミネラルを飲むことで、肝機能障害が改善するとともに、全身の虚脱感や疲労感が解消し、さらによく眠れるなど、精神の安定も得られている人が多いようです。

肝機能の回復とともに全身状態が改善されたためでもあるかもしれませんが、むしろ、海洋ミネラルの成分が肝臓だけでなく、全身の細胞を活性化させて、本来人間に備わっている自己治癒能力(病気を治す力)を助けたためであるとも考えられます。

太古の生物は海に生まれ、多彩な進化を遂げました。それゆえ、海に存在する80種を超える元素は、現在も人類の生命活動と密接に関連しているのでしょう。現代人の食生活に微量元素が不足しているという飯岡さんの意見に共感を覚えます。

アトピーが治った、肝臓病に効いた、10kg減量した家でできる 海水療法 発見!

小説家 宗田 理

海洋ミネラルでガンが軽快した人もいます

みずら海洋ミネラルを飲む人気小説家が報告

今も太古の海を細胞の周囲に保有

数年前、『雨林』という小説を書いた。これはガンの特効薬を探しに行く話したが、そういう特効薬は、人跡未踏の熱帯雨林か、未知の海にある海藻から見つけられるのではないかと思い、調べたことがあった。

専門の学者に話を聞いたり、文献に当たったりしてるうちに、探せばそういう特効薬の見つかる確立は、かなり高いということがわかった。

そんなとき、友人で医事評論家のM氏から、たまたまこんな話を聞いた。約35億年前、地球最初の生命は海の中に生まれた。その中で進化した生物のあるものは陸上生活に移行したが、そのとき外部環境であった海を、細胞外液という内部環境として大内に保持したと考えられている。つまり、動物は太古の海を細胞の周囲に保有しているのだと言うのだ。そこまで聞いて、僕は「ほおっ」と思った。話はそれからが本題だった。南極観測隊の隊長だった鳥居鉄也博士が、太古の海水の結晶である「南極石」を発見。持ち帰って分析したところ、その主成分は人間の体液とほとんど同じで、特に微量元素の割合は、母親の胎内の羊水のそれとよく似ていたのだそうだ。「この原紙海水の成分をモデルとして作られたのがこれだ」と言って見せられたのが、海洋ミネラルであった。「これは黒潮海域の海水を採取、過熱、ろ過し、ナトリウムを除去した海洋ミネラルで、これには生体に必須の微量元素が60種類も含まれているのだ。」とM氏は言いながら、35g入りの容器を2個くれた。それが、僕が海洋ミネラルを飲み始めたきっかけである。

痛いがなくなり家事労働もできる

それからしばらくした去年の10月ごろ、某県立病院の癌センターで、7月に余命数ヶ月と宣告された60歳の女性に、僕の弟が「海洋ミネラルをのんでみたら」と勧めた。この女性は、どうせ死ぬならと抗癌剤を拒否。自宅で痛み止めの薬だけを飲んでいたが、その後、海洋ミネラルを1日5g服用し始めた。当時は、これで年が越せたらという思いであったが、海洋ミネラルの服用を始めてから、ガンの痛みがなくなり、家事労働もできるようになった。よく眠れるようになり、精神状態も安定した。こうして、今年の6月現在、去年の7月に余命数ヶ月と言われたことが嘘みたいに暮らしている。この女性については、山形大学医学部の藤井聡博士も文書で報告している。その他、藤井博士は、38歳の女性の多発性のポリープ（粘膜などにできるキノコのような腫瘍）が、海洋ミネラルを2ヶ月服用して消滅したこと、45歳の女性の子宮筋腫（子宮にできる良性の腫瘍）が、海洋ミネラルの3ヶ月の服用で消失したことなども報告している。「なぜ消失したのか、そのメカニズムについては不明の点が多いが、生体機能の恒常性の維持に、海洋ミネラルが有効である点で、生体組織の過形成や異形化を阻止する（つまり、腫瘍ができるのを抑える）、なんらかの作用があるので

はないかと思われる」

と藤井博士は報告書の中で述べている。

最近、ガンの免疫療法のことが話題になっている。免疫療法とは、体が持っている病気と闘う力を高めることによって、病気を治す方法である。

京都大学の内田温土教授のATK療法が、今最も注目されているガンの免疫療法だ。

これは自分のガン細胞を殺すリンパ球（血液成分の白血球の一種）の力を活性化して、ガンを治す療法である。

リンパ球を活性化する薬はいろいろあるが、その効果は人によって異なる。

海洋ミネラルにも、そういう作用があるのではないかと注目されているそうだが、現在のところ、効果はあっても、その何が効いたのかは、はっきりとはわからないらしい。

しかし、僕はこれでもいいのではないかと思う。この複雑、精巧にできている人間の体が、100年足らずの歴史の西洋医学で、すべて理解できるわけがない。

1つの病気が治っても、また別の病気が現れ、最後は体中に管をつけてベッドに横たわって死ぬのは嫌だ。

そこで、僕の海洋ミネラルの服用効果だが、別になんの自覚症状もない。それは、僕に格別の持病がないからで、67歳の現在では、去年と同じ体調を維持できるのなら、効果はあるに違いないと思って、毎日朝夕飲んでいる。